

(様式第1号)

平成30年5月2日

認定介護福祉士認証・認定機構

理事長 大島 伸一 様

領 域 名 : 医療に関する領域

科 目 名 : 疾病・障害等のある人への生活支援・連携 I

単 位 数 : 2単位

認証申請する研修の名称 : 認定介護福祉士養成研修

団体名 : 一般社団法人静岡県介護福祉士会

団体事務所の所在地 : 〒420-0856

静岡県静岡市葵区駿府町1-70 静岡県総合社会福祉会館4階

電話 : 054-253-0818

FAX : 054-253-0829

E-mail : shizukai@cy.tnc.ne.jp

下記書類を添えて上記科目に対する研修の認証を申請します。

団体代表者 : 一般社団法人静岡県介護福祉士会

申請責任者 : 会長 及川 ゆりこ



記

○認定介護福祉士研修認証申請書 (別紙1～3)

<機構使用欄>

受付	
確認	
委員付託	
追加連絡	
評価報告	
理事会承認	
認証番号	

(別紙1) 認定介護福祉士研修認証

※申請受付番号 _____

(※は記入しないでください)

認定介護福祉士研修認証申請書

申請年月日	平成30年 5月 2日
申請団体名	一般社団法人 静岡県介護福祉士会
申請団体代表者氏名	会長 及川 ゆりこ
申請責任者職名 申請責任者氏名	認定介護福祉士養成研修担当 理事 水野 公智
団体住所 同 Tel・Fax メールアドレス	〒420-0856 静岡県静岡市葵区駿府町1-70 静岡県総合社会福祉会館4階 Tel : (054)-(253)-(0818) Fax : (054)-(253)-(0829) E-mail: shizukai@cy.tnc.ne.jp
申請対象の領域	領域名 : 医療に関する領域
科目名 (単位数)	科目名 : 医療・障害等のある人への生活支援・連携 I (2単位)
申請する研修名	認定介護福祉士養成研修
研修認証実績	年 認証番号 () 年 認証番号 () 年 認証番号 ()
その他特記事項	

(別紙2) 認定介護福祉士研修認証

認証申請科目に対する研修の内容

申請対象の領域	医療に関する領域	
科目名	疾患・障害等のある人への生活支援・連携 I	
(1) 提供する研修について		
研修名	認定介護福祉士養成研修	
教育目的	<ul style="list-style-type: none"> 認定介護福祉士として、生活支援の場面で必要となる医療的ケアや判断及び医療職等との連携の際の根拠となる医療に関する基礎的な知識を獲得させる。 	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 生活支援場面で必要となる、解剖生理、病態生理、症候、疾病等の基礎的な内容を理解し、他者に説明できる。 疾病、障害等について、その秩序、主な症状、診断、治療、経過と予後等の生活支援に必要な基礎的な内容を理解し、他者に説明できる。 	
研修内容（研修プログラム）	含むべき内容	研修プログラム
	<p>○生活支援場面で必要となる解剖生理、病態生理、症候、疾病等に関する基礎的な知識</p> <p>【「疾患・障害等のある人への生活支援・連携 I」で扱う疾病・症候】発熱、脱水、悪心、嘔吐、下痢、便秘、失禁、頻尿、浮腫、腹痛、食欲不振、咳、痰、喘鳴、呼吸困難、誤嚥、動機、不整脈、胸痛、難聴、視力障害、眩暈、麻痺、振戦、腰痛、不眠、褥瘡</p> <p>○疾患・障害等において、生活支援に必要な基礎的な知識・各疾患・障害等において、次の内容をふまえる</p> <p>①機序、症状、診断、治療、経過と予後</p> <p>②主な薬の知識（作用と副作用）</p> <p>③リスクと対応</p> <p>④生活支援の留意点・観察ポイント</p> <p>⑤他職種と共有すべき情</p> <p>【「疾患・障害等のある人への生活支援・連携 I」で扱う疾患・障害】・神経系疾患</p> <p>①神経筋疾患（パーキンソン病、筋委縮性測策</p>	<p>○事前課題①（2時間）</p> <p>生活支援場面で必要となる解剖生理、病態生理、症状、疾病等に関する基礎的な知識について、教材を自己学習する。</p> <p>○事前課題②（3時間）</p> <p>「疾患・障害等のある人への生活支援・連携 I」で扱う疾病・症状の一部の疾病・症状について、具体的事例を状態観察し、各疾病・症状毎 400 字程度にまとめる。その際、状態観察日時、場所、事例の性別年齢、生活環境の状況、症状の状態観察内容等を記して下さい。（A4、パソコン使用、裏表印字可）</p> <p>1) 事前課題①は事前課題②を行う上の基礎知識となります。教材を自習し、事前課題②に取り組んで下さい。</p> <p>2) 事前課題②は、研修内容（プログラム）の生活支援場面で必要となる解剖生理、病態生理、症状、疾病等に関する基礎的な知識で扱う疾病・症状」で示される各症状（発熱、脱水、悪心、嘔吐、下痢、便秘、失禁、頻尿、浮腫、腹痛、食欲不振、咳、痰、喘鳴、呼吸困難、誤嚥、動悸、不整脈、胸痛、難聴、視力障害、眩暈、麻痺、振戦、腰痛、膝痛、不眠、褥瘡）について実際に観察して症状を理解することを目的として記録します。介護現場では、ほとんどの症状が日々状態観察されるのですが、症状名と症状を対応させて理解していないことが多いので、今回は事前課題②の実施を通して、現場で頻繁に状態観察される症状の実際を指導者としての立場から理解することとしました。</p> <p>講義では、研修プログラムの目的にそって、7 時間でこれらの症状について認定介護福祉士として、医療職との連携時に介護スタッフや関係者に説明指導に活かせるよう、これら事前課題②の実施内容を分析し参考にして、全ての症状について適切に、理解し説明指導できることを目標に授業を行います。</p>

硬化症（ALS等）

②脳血管疾患（脳梗塞、脳内出血、くも膜下出血、一過性脳虚血発作（TIA）等）

- ・高次脳機能障害
- ・循環器系疾患（慢性虚血性心疾患・狭心症・急性心筋梗塞・高血圧性疾患）
- ・呼吸器疾患（慢性閉塞性肺疾患・誤嚥性肺炎・不顕性肺炎）
- ・代謝性疾患（糖脂異常症・糖尿病）
- ・筋骨格系疾患

①骨関節疾患（膝関節症、骨粗鬆症、関節リウマチ・腰部脊柱間狭窄症）

②高齢者に多い骨折等（大腿骨頸部骨折・橈骨遠位端骨折・腰椎圧迫骨折等）

- ・精神疾患（統合失調症・うつ病・せん妄・アルコール依存症候群・睡眠障害等）
- ・知的障害（精神障害）
- ・発達障害
- ・その他の疾患：老人性白内障、緑内障、老人性難聴

○事前課題③（4時間）
疾患・障害等のある人への生活支援・連携 I で扱う疾患・障害における生活支援に必要な基礎的な知識（機序・症状・診断、治療、経過と予後、服薬の作用）について、教材を自己学習し理解する。

○事前課題④（5時間）
事前課題③で自己学習した内容について、各疾患群から一つ選択し、①機序・症状・副作用・診断・治療・経過と予後について整理し、ポスターに表し、②服薬（作用と副作用）についてパソコンを使って教材を自己学習し、事前課題③の知識と組み合わせて下書きする。③事前課題④は研修プログラム「疾患・障害等のある人への生活支援・連携 I で疾患・器障害系疾患、知的障害、性的障害、発達障害、筋系疾患、精神疾患、診断、治療、経過と予後、服薬の作用と副作用、リスクヘッジ、他職種連携、生活支援の留意点と観察のポイント、適切な実践や判断が90分以内で実施できるかを検討する。④事前課題④の理解を深め、必要となる基礎的な知識（機序・症状・診断、治療、経過と予後、服薬の作用）について、教材を自己学習し理解する。⑤事前課題④の理解を深め、必要となる基礎的な知識（機序・症状・診断、治療、経過と予後、服薬の作用）について、教材を自己学習し理解する。

○生活支援場面での必要となる基礎的な知識（機序・症状・疾病等）の実践が可能なよう理解を深める。（講義7時間）

①発熱、脱水、悪心、嘔吐、下痢、便秘について、解剖生理・病態生理の視点から症状を理解し、適切な介護実践や判断に繋げると同時に、医療職との連携や他者への説明指導に活かせるよう学ぶ。（2時間）

②失禁・頻尿、浮腫、腹痛、食欲不振・褥瘡について、解剖生理・病態生理の視点から理解を深め、適切な介護実践や判断に繋げると同時に、医療職との連携や他者への説明指導に活かせるよう学ぶ。（1時間）

③咳・痰・喘鳴・呼吸困難・誤嚥について解剖生理・病態生理の視点から理解を深め、適切な介護実践や判断に繋げると同時に、医療職との連携や他者への説明指導に活かせるよう学ぶ。（1時間）

④動悸・不整脈・胸痛について、解剖生理・病態生理の視点から理解を深め、適切な介護実践や判断に繋げると同時に、医療職との連携や他者への説明指導に活かせるよう学ぶ。（1時間）

⑤難聴・視力障害・眩暈・麻痺・振戦・不眠について、解剖生理・病態生理の視点から理解を深め、適切な介護実践や判断に繋げると同時に、医療職との連携や他者への説明指導に活かせるよう学ぶ。（1時間）

		<p>⑥腰痛・膝痛について、解剖生理・病態生理の視点から理解を深め、適切な介護実践や判断に繋げると同時に、医療職との連携や他者への説明指導に活かせるよう学ぶ。(1時間)</p> <p>○疾病・障害等にある人への生活支援・連携 I で扱う疾患・障害における生活支援に必要な基礎的な知識(機序・症状・診断・治療・経過と予後、服薬の作用と副作用、リスクへの対応、生活支援の留意点と観察のポイント、他職種と共有すべき情報等)(講義9時間)</p> <p>① 神経系疾患・高次脳機能障害について生活支援に必要な基礎的知識を理解し、適切な実践や判断が可能になると同時に医療職との連携や他者に説明指導が可能となるよう学ぶ。(3時間)</p> <p>②循環器系疾患・哨戒機計疾患について生活支援に必要な基礎的知識を理解し、適切な実践や判断が可能になると同時に医療職との連携や他者に説明指導が可能となるよう学ぶ。(2時間)</p> <p>③呼吸器系・代謝性疾患・筋骨格系疾患について生活支援に必要な基礎的知識を理解し、適切な実践や判断が可能になると同時に医療職との連携や他者に説明指導が可能となるよう学ぶ。(2時間)</p> <p>④精神疾患・知的障害・発達障害・その他の疾患について生活支援に必要な基礎的知識を理解し、適切な実践や判断が可能になると同時に医療職との連携や他者に説明指導が可能となるよう学ぶ。(2時間)</p>
<p>研修方法</p>	<p>■集合研修 ■課題学習</p>	<p>○集合研修講義を行う。 ○課題学習は事前課題として、①③資料を読み自己学習、②④レポート課題を課す。評価は担当講師が行う。</p>
<p>研修時間</p>	<p>30 時間(集合研修 16 時間、課題学習 14 時間)</p>	
<p>修了要件</p>	<p>○原則として全課程の出席を要する。やむ得ない事情による遅刻、早退については30分を上限として認める。30分を超える遅刻、早退の場合、別途課されるレポート課題により代替することを可能とする。 ○事後課題はA～Dの4段階評価とし、D評価の場合は再提出を求める。事後課題の提出が期限内に行われなかった場合、修了を認めない。 ○欠席の場合は修了を認めない。</p>	
<p>講師要件(講師の選定基準)</p>	<p>○認定介護福祉士について十分な知識を有し、講師等の教育経験を持つ者 ○補助者についても認定介護福祉士について十分な知識を有し、講師等の教育経験を持つ者</p>	

(2)受講者について	
受講対象 (受講要件)	<p>(1)次のア～ウのいずれをも満たしていること。 ア介護福祉士資格取得後の実務経験5年以上（実務経験の考え方は介護福祉士国家試験の受験資格に準ずる） イ介護職員を対象とした現任研修の受講歴として、100時間以上の履歴を有していること。 ウ当会の課すレポート課題又は受講試験において一定水準の成績を修めていること。ただし、認定介護福祉士認証・認定機構の定める研修を修了している場合は免除する。</p> <p>(2)次のエ又はオを満たすことが望ましいこと。 エ介護職の小チーム（ユニット等、5～10名の介護職によるサービス提供チーム）のリーダー（ユニットリーダー、サービス提供責任者等）としての実務経験を有すること。 オ居宅、居住（施設）系サービス双方での生活支援の経験があること。</p>
修了評価	<p>修了評価は以下により行う。</p> <p>①出席状況が修了要件を満たしていること。</p> <p>②筆記試験（50問）により行い、100点～80点をA評価、79点～70点をB評価、69点～60点をC評価、59点以下をD評価とする。A～C評価（100点満点中60点以上）で修了とする。</p>
(3)研修の環境条件	
定員（講師の配置基準）	30名（講師1名）講義・演習とも同じ講師で行う
開催場所（都道府県）	静岡県総合社会福祉会館（静岡県静岡市葵区駿府町1-70）

(別紙 3) 認定介護福祉士研修認証

認証申請する研修の実施体制等 (届出事項)

(1) 研修の実施予定	
実施日	① 平成 31 年 4 月
	② 平成 31 年 4 月
	③
開催場所 (会場)	① 静岡県総合社会福祉会館 (静岡市葵区駿府町 1-70)
	②
	③
(2) 講師	
担当、氏名及び略歴	<p>○医療に関する領域 武田啓子 日本福祉大学・教授 中京大学情報科学研究科認知科学専攻修士課程修了 (平成 21 年 3 月)、聖隷クリストファー大学大学院看護学研究科博士課程修了 (平成 25 年 3 月) 日本福祉大学高浜専門学校・専任教員 (平成 10 年 4 月～平成 21 年 3 月)、愛知教育大学・非常勤講師 (平成 18 年 10 月～平成 22 年 3 月)、日本福祉大学 (平成 21 年 4 月～現在) 主な著書:『キャリアアップ 介護福祉士試験対策』公益財団法人 介護労働安定センター (2011～2017) 他. 看護師資格取得、看護教員資格取得 社会福祉士資格取得 介護教員資格取得、訪問介護員 2 級課程研修修了 主任指導者 (介護技術教育資格) 養成講習修了 介護職員等によるたんの吸引等の実施のための研修事業指導者講習修了</p>
	<p>担当する講義等 事後課題評価 武田 啓子 氏 経歴等は同上</p>

(3) 実施体制	
研修の企画運営の組織 (担当部局・人員)	認定介護福祉士養成研修委員会（非常勤：6名） 委員会事務局（担当事務局員：常勤2名・非常勤2名） 認定介護福祉士養成研修委員会において各科目の教育目標や到達目標を確認し、担当講師と科目間の連間や留意点について共有する。またできる限り研修実行委員会との委員が研修に参加・見学し、研修内容を評価するとともに、随時研修の見直しを図る。
研修の企画運営に関する諸規程	静岡県介護福祉士会の定款、研修委員会の諸規程に準ずる。
研修管理責任者職名	会長
研修管理責任者氏名	及川 ゆりこ
機構問合せ先部署	静岡県介護福祉士会事務局
機構問合せ先担当者氏名	平野 美智子
機構問合せ先電話番号/FAX	054-253-0818 / 054-253-0829
機構問合せ先 e-mail アドレス	shizukai@cy.tnc.ne.jp
受講問合せ先部署	静岡県介護福祉士会事務局
受講問合せ先担当者氏名	平野 美智子
受講問合せ先電話番号/FAX	054-253-0818 / 054-253-0829
受講問合せ先 e-mail アドレス	shizukai@cy.tnc.ne.jp
(4) 研修履歴の管理体制	
受講者への付与単位部門	静岡県介護福祉士会事務局
受講履歴の管理方法	○紙媒体及びデータによる台帳管理 ○データ保存期間は最低10年間とし、その後は、紙媒体で保管する。 ○個人情報の取り扱いにおいては、法律を遵守する。
受講履歴の証明	各科目を修了した時点でその科目の修了証明書を発行し、全課程を修了したのものには、全課程を修了した証明書を発行する。
管理責任者氏名	及川 ゆりこ（会長）
管理担当者氏名	平野 美智子（事務局長）